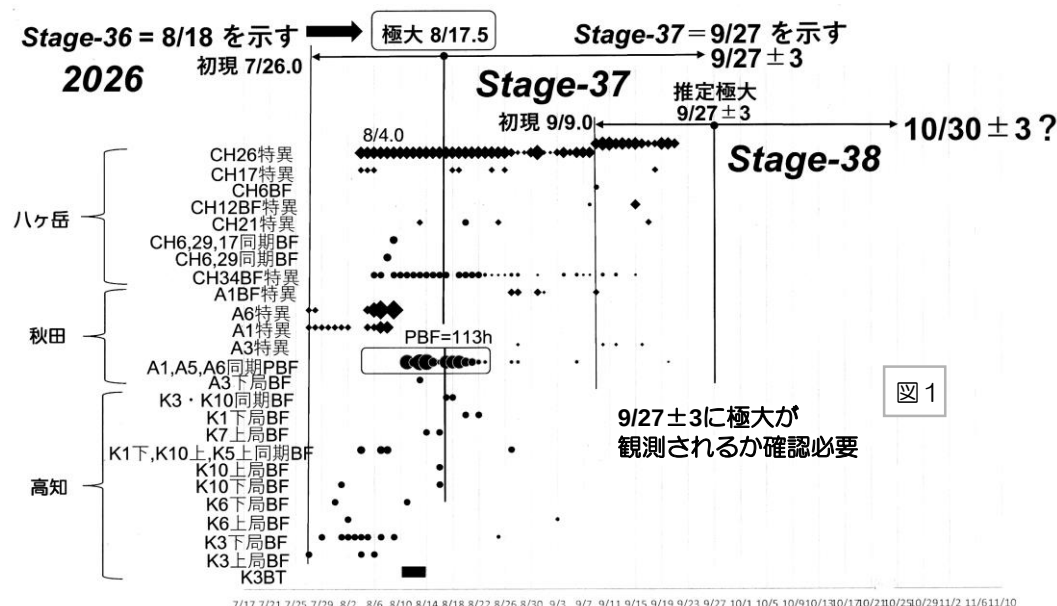


※No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」には是非ご参加下さい。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

No1778 CH26 変動継続 9/9.0 より Stage-38 へ移行の可能性

CH26 9/27±3 に極大が出現するか確認必要 9/27±3 極大の場合=10/30±3 示す



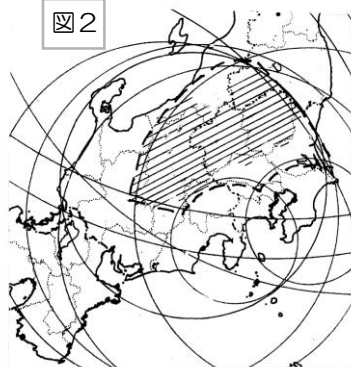
◆Stage-37は9/27±3を示します。その場合9/19頃までにCH26の変動が終息しないと経験則に合いません。しかし、9/21本日現在、CH26の変動は継続出現しており、一向に終息する様には見えません。

◆この観測事実からCH26の変動が終息しないのは、Stage-37の初現が、より以前から出現、または、微弱部分が観測されていない可能性も考えられましたが、現在が次のステージに移行しているとする方が考えやすく、主

な変動であるCH26の変動変化を見直しました。E-mail・FAXで日々配信しております、観測情報では、9/10配信のNo3698観測情報で既に波形を掲載して報告済ですが、9/9.0からCH26の基線電圧値が急上昇し、無振動基線に近い基線に変化しています。現在も無振動基線を交えた変動が見えます。この9/9.0から次のStage-38に移行した可能性が高いと考えます。その場合、Stage-37が示す9/27±3に極大が出現する可能性があります。9/27±3に極大が出現した場合は、Stage-38は10/30±3を示すことになります。実際の変化を観測して続報させていただきます。

◆本内容より早い時期が推定された場合も続報で報告させていただきます。

図2



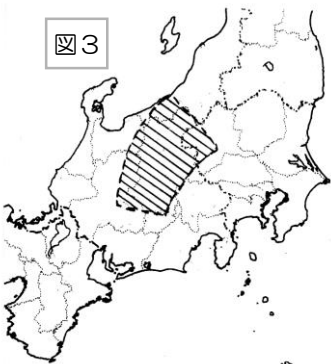
- 推定領域：図2の点線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域
図3の斜線領域内の可能性有

- 推定規模：PBF平均値使用＝**M7.8±0.3**（PBF最大値使用＝**M8.0±0.3**）

主震＋余震型が考えやすい（2016年熊本地震の様な複合地震は考えにくい）

※地震発生に伴う震源近傍火山の噴火の可能性は現状では低い。今後の観測必要

図3



- 推定時期：10/30±3の可能性有（未確定）CH26 極大観測後計算予定

- 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震

- 推定発生時刻：午前9時±2時間 or 午後6時±3時間

※No1778前兆変動は2008年7/4から18年4ヶ月継続となる、31年間の観測歴上最長継続の初めて体験する極めて難解な特殊変動です。経験則を使用して解析していますが過去例がないため「発生時期・規模・領域」のいずれも、現在の推定が正しいか否か不安な部分があることは否めません。この点はどうかお許しください。例え推定内容に近い活動が生じた場合でも、被害の少ないことを祈ります。念のため最大限の備えをお願いします。